

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ヴィクトリアマイルはアーモンドアイが完勝

5月17日(日)に行われたヴィクトリアマイル(G I)では、アーモンドアイ(牝5歳/美浦・国枝栄厩舎)が4馬身差で完勝、単勝オッズ1.4倍の断然人気に応えました。JRAのG Iは6勝目となり、これは1984年のグレード制導入以降、史上10頭目のこと。ドバイターフを含めた芝G I(G 1)7勝は歴代最多タイの記録となります。

●丹内祐次騎手がJRA通算300勝を達成

5月17日(日)の1回新潟4日・第9レースではベルジュネスが1着となり、同馬に騎乗した丹内祐次騎手(美浦・フリー)は、現役50人目となるJRA通算300勝(7846戦目)を達成しました。

●宗像義忠調教師がJRA通算600勝を達成

5月17日(日)の2回東京8日・第4レースではサトノファビュラスが1着となり、同馬を管理する宗像義忠調教師(美浦)は、史上95人目、現役では16人目となるJRA通算600勝(延べ6716頭目)を達成しました。

●スエヒロジョウオー、フォーティナイナーが死亡

4月30日(木)、スエヒロジョウオー(牝30歳)が死亡しました。同馬は1992年阪神3歳牝馬S(G I)を制するなどJRA通算11戦3勝の成績を残して引退。繁殖牝馬としては鳴尾記念などの勝ち馬スエヒロコマンダーを出し、繁殖牝馬引退後は公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル引退名馬繋養展示事業の助成対象馬として、北海道新冠町の小泉牧場に繋養され余生を送っていました。また5月18日(月)、フォーティナイナー(牡35歳)が老衰のため死亡しました。現役時通算19戦11勝の成績を残し、1987年米国内2歳牡馬チャンピオンに輝いた同馬は、種牡馬としても1996年の北米リーディングサイアーを獲得。同年日本に輸入されてからはユートピア(ダービーグランプリ、マイルチャンピオンシップ南部杯)やマイネルセレクト(JBCスプリント)らを送り出しました。2007年の供用を最後に種牡馬から引退し、静内種馬場で功労馬として余生を送っていました。産駒のエンドスウィープ、その子であるサウスヴィグラス、スウェプトオーヴァーボード、アドマイヤムーンらが種牡馬として活躍、父系を広げています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●北斗盃(門別)は牝馬のレッドカード【各地の主要3歳重賞】

北斗盃(5月14日、門別、1600円)は、4、5番手から直線に入って間もなく抜け出した2番人気のレッドカード(牝、父キンシャサノキセキ)が後続を振り切り、単勝1.5倍で断然人気のアベニンドリームは6着に沈んでいます。北日本新聞杯(5月4日、金沢、1700円)は、後方から差を詰めた3番人気のフジヤマブシ(牡、父トビーズコーナー)が、逃げ込みを図る単勝1.8倍で1番人気のストロングフーズをゴール寸前でクビ差捉えました。東京湾C(5月6日、船橋、1700円)は、後ろから3頭目という位置から追い上げた3番人気のマンガン(牡、父アイルハヴアナザー)がゴール前で1番人気のエメリットを交わして優勝。のじぎく賞(5月14日、園田、1700円、牝馬)は、中団から直線内めを突いて伸びた2番人気の大井からの遠征馬テーオーブルベリー(父カジノドライブ)が残り50円で差し切り、逃げた単勝1.3倍で圧倒的人気のステラモナークは5着でした。

●ゴールドクイーンらが参戦、5月27日のさきたま杯(浦和)

さきたま杯(Jpn II、5月27日、浦和、1400円)は、ともに逃げ脚質ですが、牝馬ゴールドクイーンと東京スプリントの覇者ジャスティンが双璧、以下ノボバカラ、ブルベアイリーデ、ブルドッグボス(浦和)までが争覇圏内と考えられます。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●サンタアニタパークで競馬再開、チャーチルダウンズも開幕

5月15日、米カリフォルニア州のサンタアニタパーク競馬場で競馬が再開されました(無観客)。同競馬場における競馬はロサンゼルス郡公衆衛生局の指示によって3月22日を最後に中止されていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止策が強化された上での開催が許可されました。また、米ケンタッキー州のチャーチルダウンズ競馬場では4月25日に開幕予定だった春開催がようやく5月16日にスタート(無観客)しています。

●ブリークネスSは10月3日、ベルモントSは6月20日に開催

新型コロナウイルスの影響で未定となっていたG 1ブリークネスS(3歳、ピムリコ競馬場)とG 1ベルモントS(3歳、ベルモントパーク競馬場)の開催日がそれぞれ10月3日、6月20日に決まりました。G 1ケンタッキーダービー(3歳、チャーチルダウンズ競馬場)についてはすでに3月には9月5日への順延が決定されていたので、これで今年の米三冠レースは、例年最終戦となるベルモントSが初戦となり、その後ケンタッキーダービー、ブリークネスSの順で施行されることとなります。なお、ケンタッキーダービーとブリークネスSについてはそれぞれダート2000円、ダート1900円に変わりありませんが、ベルモントSはダート2400円からダート1800円へと変更されています。